

2016年10月14日

当社従来品比2倍の明るさ
スポットライト型プロジェクター「Space Player」の
2000lmタイプを発売
照明制御システムと連動



【Space Player本体】

商品名	Space Player(スペース プレーヤー)
明るさ	2000lm(ルーメン)
希望小売価格	オープン価格
発売日	2016年11月1日より順次

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社は、照明と映像を融合して新しい空間を演出するスポットライト型プロジェクター「Space Player(スペース プレーヤー)」の2000lmタイプを、2016年11月1日から発売します。

「Space Player」は照明とプロジェクターの機能を持つ商品です。空間になじむコンパクトなデザイン、長寿命のレーザー光源採用による省メンテナンス性、PCやタブレットなど幅広い機器からのコンテンツ再生機能、投映方向を自在に変えられる可動構造など、様々な特長を持っています。

今回、発売する2000lmタイプは当社従来品比2倍の明るさで、比較的明るい空間でも、鮮やかな映像演出を実現します。また、照明器具個別に明るさと色温度を制御できる「マルチ調光調色システム」との連動も可能になりました。これにより「Space Player」の投映タイミングにあわせて、最適な照明シーンを再現できるようになりました。

さらに、リモコン操作によるスペースプレーヤー複数台の一斉ダイレクト再生機能や、ワイヤレスで音声出力ができるBluetooth発信機能を搭載、専用ソフト「チョークアートメーカー」との組み合わせによる演出の実現など、ネットワーク機能を拡充しました。

当社は「Space Player」による映像を用いた空間演出市場の拡大、発展を目指していきます。

<特長>

1. 明るさ当社従来品比2倍の2000lmで比較的明るい空間でも鮮やかに投映
2. マルチ調光調色システムと連動し、映像にあわせた最適な照明シーンを再現
3. 複数台連携などネットワーク機能を拡充

【お問い合わせ先】

照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター

0120-878-709 (受付9:00~20:00)

エコソリューションズ社 ライティング事業部 ライティング機器BU 店舗商品部 営業推進課

電話:06-6908-1131 (代表 受付 9:00~17:30)

【特長】

1. 明るさ当社従来品比2倍の2000lmで比較的明るい空間でも鮮やかに投映

明るさ2000lmタイプは、当社従来品比2倍の明るさで、比較的明るい空間で、鮮やかな映像演出を実現。施設や店舗などの演出ニーズに合わせて活用できます。



【2000lmタイプ】



【店舗でのウィンドウディスプレイ演出の例】

2. マルチ調光調色システムと連動し、映像にあわせた最適な照明シーンを再現

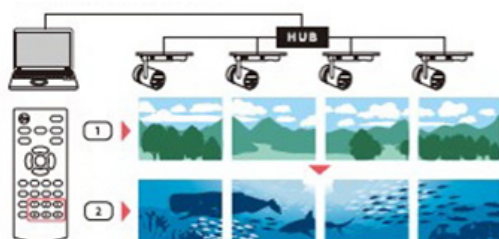
2000lmタイプでは、照明器具個別に明るさと色温度を制御できる「マルチ調光調色システム」と連動できるようになりました。「Space Player」の投映スケジュールに応じて、最適な照明シーンを再現できるようになりました。



【ステーションモールでの演出事例：左側が5000K、右側が3000K】

3. 複数台連携などネットワーク機能を拡充

リモコンのボタン一つでスペースプレーヤー複数台の一齐ダイレクト再生が可能になり、空間演出の幅が広がりました。また、ワイヤレスで音声出力ができるBluetooth発信機能を搭載（外部スピーカー別売）さらに専用ソフト「チョークアートメーカー」(有料)との組み合わせによりお好みでイラストや文字などを簡単に描き込み、再生でき、毎日のPOP作りにも最適です。



【リモコン操作で複数台から一齐に投映】



【Bluetooth搭載】

【ご参考】

■仕様一覧

タイプ		配線ダクト取付け型	天井直付け型	床置き型
品番	ホワイト	NTN91002W	NTN91003W(ベース本体)+ NTN98000W (天井直付けボックス)	NTN91003W(ベース本体)+ NTN98003W (床置き台座)
	ブラック	NTN91002B	NTN91003B(ベース本体)+ NTN98000B (天井直付けボックス)	NTN91003B(ベース本体)+ NTN98003B (床置き台座)
明るさ		2,000lm		
光源/寿命		レーザーダイオード(最大出力:36W×2個、波長452~458nm)/ 20,000時間(初期の50%の明るさになるまで)		
解像度		786,432画素(XGA)		
消費電力(電圧)		240W		
レンズ		電動ズーム(1~2.2倍)・電動フォーカス		
照射方向		水平より下向き	水平より上向き	
再生ソース		スタンドアロン :SDカードの画像/映像ファイルを本機単独で再生 有線 :HDMIの端子を備え、PCやプレーヤーなどと接続し再生 LAN端子は制御用、USB端子は電源供給用 無線 :Wi-FiでPCやタブレットなどと接続し再生(動画再生は出来ません)		
発売時期		2016年11月	2017年2月	
価格		オープン価格 ※オープン価格の商品は希望小売価格を定めておりません。		

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。